

石ころクラブの活動報告

石ころクラブ勉強会 (代表 松原 勝)

1. いろいろな石を見分けよう (石ころクラブ グループA)

石ころクラブの関係者の方から、活動の参考にと寄せられた多くの岩石をクラブ員で手分けして分類しました。

岩石(石)は大きく分けて3つに分類が出来ます。

① 火成岩: マグマが地中で冷えたものや地表に噴出してできたもの。

② 堆積岩: 泥・砂・礫や生物死骸が長い期間のあいだに積み重なり、固まってできたもの。

③ 変成岩: 岩石が熱や圧力により、変化してできたもの。

まずは、これらの岩石の様子を肌で感じてもらいます。

つぎに、岩石の一つ一つの特徴(結晶、層理、構成粒など)をつかんでください。肉眼で、その特徴がつかみやすい石を集めました。



石ころクラブ勉強会での岩石の分類風景です



分類した火成岩, 堆積岩, 変成岩を展示しました



蛍光で光る石かどうかを確認します

2. しらべてみよう石の性質 (石ころクラブ グループB)

岩石には様々な特徴があります。その一つが“光る”というものです。紫外線をあてると蛍光色に光ります。ぜひ、神秘的な色を楽しんでください。

11月に石ころクラブで野外観察会（現地へ出掛けて地質などを見学し、採集可能であれば石や砂などを採集する）を企画し、池田市にある「秦野鉱山」跡に行きました。この鉱山は大正から昭和初期に稼働しており、亜鉛やタングステンなどを産出していました。このタングステンを含む岩石が灰重石というもので、これが光ります。また、博物館に所蔵されている様々な光る石も展示しました。

“磁石”にくっつく石もあります。磁石を用意しましたので実際にためしてみてください。

モース硬度計によるいろいろな石の“硬度”をしらべます。クギや10円玉で硬度をしらべてみてください。



野外観察会風景（池田市「秦野鉱山」跡）



ブラックライトで“光る石”を観察しましょう。



砂鉄は“磁石”にくっつきます。



クギや10円玉で“硬度”をしらべます。

〈石ころクラブ勉強会 構成メンバー〉

松原 勝（代表）、松原陽子、舟木冴子、岡 記左子、岡崎聡郎、酒井正治、島田大二郎、森本泰夫、田中博子、荻田雅弘、春木正太郎、河津 哲、先山 徹（顧問）